



子どもの笑顔、地域で守る！ 「オレンジリボンたすきリレー」

11月のオレンジリボン・児童虐待防止推進月間に先立ち、10月24日、茨城県児童福祉施設協議会を代表して、児童養護施設「自生園」施設長の松田氏が市長を表敬訪問し、児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンの受贈と、リレーでつなぐたすきの伝達が行われました。

この取り組みは、地域全体で児童虐待問題への関心を高め、児童虐待防止を呼びかけるものです。松田施設長は「地域全体で子どもを守ろうという強いメッセージをたすきに込めて走ります」と決意を述べました。

11月7日には、県内の児童福祉関係者約200名が参加するオレンジリボンたすきリレーが実施され、ゴールの茨城県庁へたすきが届かれ、セレモニーが行われました。

問 子育て支援課

松田施設長（左）からたすきを受け取る菊池市長（右）
※「オレンジリボン」は、子どもの虐待防止を啓発する全国的な運動のシンボルマークです。

災害時にも安心！

備蓄型組立式個室トイレの導入と訓練を実施

下妻市は、大規模災害に備え、今年度（令和7年度）新たに備蓄型組立式個室トイレ30基を導入し、10月22日にLIXIL下妻総合体育館で市職員による組立訓練を実施しました。

この組立式個室トイレは、工具不要で最短20分で組み立てが可能で、電気・水道・下水道が不要な汲み取り式です。タンク容量は400リットルで、約1,600回分の使用が可能という大容量が特徴で、発災直後から避難者の衛生環境とプライバシーが確保されます。

今回導入した30基は、市内基幹避難所14カ所全てに2基ずつ配備されます。各避難所担当職員は災害直後から速やかに組み立てできるよう、手順を確認しました。

この組立式個室トイレの導入は茨城県内の市町村で初めてとなります。市では今後も災害対策の強化に努めてまいります。

問 消防防災課



災害時に備えるため、組み立て手順を確認しました

男女共同参画に関する「川柳・標語」

小学5年生から中学3年生までの児童生徒より寄せられた696作品（小学生313作品 中学生383作品）のうちの入賞作品です。

○小学生の部

賞区分	作品名	学校名・学年	児童氏名
最優秀賞	それぞれが みんな違って 丁度良い	高道祖小学校 6年	すぎやま そうすけ 杉山 苍佑 さん
優秀賞	男・女 二択じゃないよ ぼくもあなたも無限大	大形小学校 6年	ひとみ りょうせい 人見 涼晴 さん
優良賞	支え合う 家事も仕事も おたがいに	大宝小学校 6年	よこせ ゆな 横瀬 結菜 さん

○中学生の部

賞区分	作品名	学校名・学年	生徒氏名
最優秀賞	本当に大切なのは 『君らしさ、	下妻中学校 1年	おおつか 大塚 えな さん
優秀賞	その一歩 性別よりも 心から	千代川中学校 3年	おのざわ すずな 小野澤 和声 さん
優良賞	輝かそう 個性が光る 多様な社会	下妻第一高等学校 附属中学校 2年	ぬまじり まみか 沼尻 真美加 さん



「デフリンピック」を表す手話ポーズ

東京2025デフリンピック応援イベントが開催

11月15日から26日に開催された「東京2025デフリンピック」に向けて、10月18日にイオンモール下妻で応援イベントが開催され、多くの方の来場がありました。

このイベントは、デフ（聴覚障害のある）アスリートによる国際大会であるデフリンピックを身近に感じ、理解を深めていただく機会として企画されました。会場には大会紹介パネルが展示され、特に手話体験コーナーは終始にぎわいました。

参加者は熱心に基本の手話を学び、聴覚に障害のある方々ともコミュニケーションがとれる楽しさに触れ、「伝わった！」「楽しい！」といった笑顔が会場にあふれ、地域におけるデフリンピックへの関心を高めることができました。「見て・聞いて・体験して楽しめる」をテーマに、大会への関心と理解を深める貴重な機会となりました。

問 福祉課



剣のバルーンアートを手に入れました

わらべうたあそびランド大会

11月16日、千代川公民館で「第17回 わらべうた・あそびランド大会」を開催し、約270名の参加者が集まり、市内の幼稚園・保育園の園児とその家族が楽しいひとときを過ごしました。

当日は、筑波大学マジシャンズクラブとジャグリングサークルSHEEPの皆さんをお迎えしました。会場は子どもたちの歓声に包まれました。

マジックショーでは、次々と繰り出される華麗なマジックに、会場からは「すごーい！」と驚きの声が上がりました。また、バルーンアートも大人気で、色とりどりの風船が、あつという間に動物やお花に変身し、子どもたちは目を輝かせしていました。

参加した親子からは「楽しい時間を過ごせました」といった声が寄せられました。

問 生涯学習課



ポーズを決める館野凪人選手（弟・左）、館野天空選手（兄・右）

テコンドー世界大会出場選手表敬訪問

今年7月にスペイン・バルセロナで開催された「テコンドーITFワールドチャンピオンシップ2025」に、館野天空選手と館野凪人選手が、10月29日に下妻市長を表敬訪問されました。

館野天空選手は組手・アダルトマイクロ級（58kg）で第3位に入賞し、「世界大会で3位という結果を残せたことは大きな成果ですが、今後は国内大会での優勝を目指したい」と今後の抱負を述べました。館野凪人選手は「初めての世界大会出場は、技術だけでなく精神面でも大きな成長をもたらした。今後は日本での大会優勝を目指し頑張りたい」と決意を語りました。今後の2人のさらなる活躍が期待されます。

問 生涯学習課